

計画の名称	秋田市における災害に備えた下水道施設の構築（防災・安全）（重点計画）												
計画の期間	平成30年度～平成32年度（3年間）										重点配分対象の該当	○	
交付対象	秋田市												
計画の目標	市街地等における浸水被害の軽減・防止を図るため、雨水幹線等の整備をすすめるとともに、老化によるリスク防止のため、長寿命化計画に基づく雨水排水ポンプ場の改築更新を行い、市民の安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な水環境を形成する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	2,369	A	2,369	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H30当初)	中間目標値 (H31末)	最終目標値 (H32末)
1	①都市浸水対策達成率を49.9%(H30当初)から50.2%(H32末)に増加させる。 ①都市浸水対策達成率 都市浸水対策完了済面積（h a）／都市浸水対策を実施すべき面積（h a）	50%	50%	50%
2	②雨水ポンプ場の長寿命化計画達成率を0.0%(H30当初)から100.0%(H32末)に増加させる。 ②雨水ポンプ場における長寿命化計画達成率 長寿命化計画により改築を実施した雨水ポンプ場大分類施設数（施設）／長寿命化計画により改築すべき雨水ポンプ場大分類施設数（施設）	0%	100%	100%

備考等	個別施設計画を含む	—	国土強靱化を含む	—	定住自立圏を含む	—	連携中枢都市圏を含む	—	流域水循環計画を含む	—	地域再生計画を含む	—
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H30	H31	R02	R03	R04			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	秋田市	直接	秋田市	管渠（ 雨水）	新設	（浸水対策）新城川左岸 3－1号幹線築造	雨水管φ800～3,000 L=1,870m	秋田市	■	■				1,654	—	
	A07-002	下水道	一般	秋田市	直接	秋田市	管渠（ 雨水）	新設	（浸水対策）新屋島木町 ほか 面整備	雨水管φ600～U2,500×1,750	秋田市	■	■	■				340	—
	A07-003	下水道	一般	秋田市	直接	秋田市	ポンプ 場	改築	（浸水対策）山王ポンプ 場	電気設備	秋田市	■	■					248	策定済
	A07-004	下水道	一般	秋田市	直接	秋田市	ポンプ 場	改築	（浸水対策）旭橋ポンプ 場	機械設備	秋田市	■	■					112	策定済
	A07-005	下水道	一般	秋田市	直接	秋田市	—	—	秋田市下水道総合地震対 策計画策定	計画策定	秋田市		■					15	未策定
	小計																	2,369	
	合計																	2,369	

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制 秋田市下水道事業担当課により、事業実施状況・指標の達成状況の確認および評価を実施	事後評価の実施時期 令和4年3月 公表の方法 秋田市ホームページにて公表
---	---

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・雨水管を整備し、都市浸水対策達成率を49.9% (H30当初)から50.5%(R2末)に向上させ、計画降雨に対して浸水被害を防止する区域を増加させた。 ・老朽化した雨水排水ポンプ場の改築更新を実施することにより、施設全体の機能確保およびライフサイクルコストを低減することができた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	

○特記事項（今後の方針等）

<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、都市浸水対策を実施し、浸水被害の軽減を図る。 ・増加する老朽化施設に対応するため、ストックマネジメント計画に基づき、計画的かつ効率的に改築更新を実施していく。
--

○目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	都市浸水対策達成率	
	最終目標値	50%
	最終実績値	51%
2	雨水ポンプ場の長寿命化計画達成率	
	最終目標値	100%
	最終実績値	100%